

今、備えよう！ 自然災害

災害への備えは大丈夫？ 防災マップ配布中！

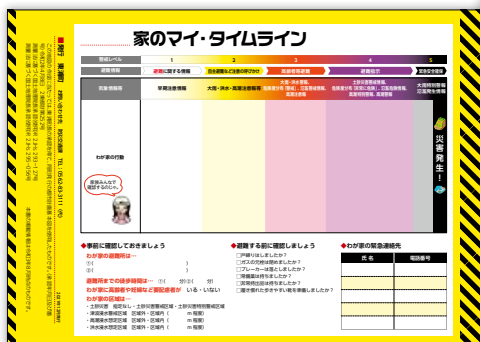
災害はいつ起こるかわかりません。防災マップを活用して、日頃から家族や地域の方と話し合いを行い、いざという時のために備えておきましょう。

●マイ・タイムラインを作成しよう！

災害発生までに「誰が」「いつ」「何を」か記入できるページが防災マップ内にあります。台風やゲリラ豪雨などの風水害に備えて、家族で話し合いを行い、わが家のマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

●防災マップ配布場所

役場 防災危機管理課、行政サービスコーナー（イオンモール東浦2階）
ほか、町内公共施設



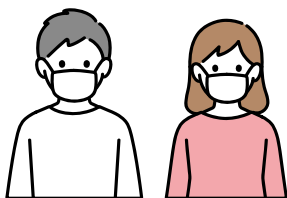
町ホームページからも
ダウンロード可能！



避難所における 新型コロナウイルス感染症対策

皆さんが安心して避難できるよう、①～⑤にご協力をお願いします。

- ①避難した方同士の十分なスペースを確保できるよう、通常よりも多くの避難所を開設します。
- ②可能であれば、親戚や友人の家などへの避難も検討してください。
- ③新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者の方など自宅療養（待機）などを行っている方は、一般避難所への避難はできません。事前に災害対策本部へ連絡してください。
- ④避難所ではマスクを着用して、手洗い、咳エチケットなどを徹底してください。
- ⑤避難所内では十分な換気を行います。暑さ対策や防寒対策を各自でお願いします。



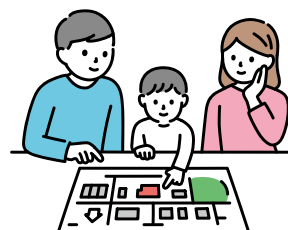
自主避難でのお願い

●自主避難とは

避難指示などによらず、身の安全を確保するため自らの判断で避難することです。

●自主避難所利用時のお願い

- ①すべての避難所を開設しているとは限りません。避難の前に町ホームページや同報無線、防災ラジオまたは問い合わせ先へ
- ②食糧、飲料水など、できる限りご自身でお持ちいただくようご協力をお願いします。
- ③避難所施設内は、原則ペットの同伴はできません。
※苦手な方やアレルギーを持つ方がいる可能性があるため。
- ④発生したゴミは、各自でお持ち帰りください。



問い合わせ 防災危機管理課 内線348

補助

感震ブレーカー設置費補助

地震災害時における火災の発生原因の多くが、電熱機器や停電復旧時に断線した電気コードなどからの出火による「電気火災」と言われています。震災時に「電気火災」の発生を抑制するため、感震ブレーカー（簡易タイプ）の購入の補助を実施しています。

感震ブレーカーのおもな種類

種 類	概 要
簡易タイプ (補助対象)	家庭の分電盤のスイッチに接続するもので、揺れを感知するとおもり玉の落下やバネの作用などよりスイッチをオフにし、電気を遮断します。 ※費用は2,000～4,000円程度
分電盤 タイプ (対象外)	分電盤に揺れを感知すると電気を遮断する機能が付いたもので、基本的に、住宅内すべての電気を遮断します。(取付工事が必要) ※費用は工事費込で5～8万円程度
コンセント タイプ (対象外)	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、当該コンセントからの電気の供給を遮断します。(コンセントの取換工事が必要なものと差し込むだけのものの2種類) ※費用は5,000円～2万円程度

●内 容 費用の2分の1以内(上限2,000円)を交付
※100円未満の端数は切り捨て

●対 象
感震ブレーカー(簡易タイプ)を購入し、町内の自宅(分電盤)に設置した方
※分電盤タイプ、コンセントタイプなどは補助対象外

●注意事項
・感震ブレーカー(簡易タイプ)は、地震の揺れと同時に住宅内すべての電気を遮断します。電源を必要とする医療機器や防犯システムなどを利用している方は、別途電源が必要です。
・夜間に地震が発生した場合、照明が消えてしまうため、屋外への安全な避難の妨げになることが考えられます。そのため、懐中電灯などの避難用照明の確保とあわせて、家具の転倒防止対策などが必要となります。

●申込み
申請書と必要書類を問い合わせ先へ
※申請書などは防災危機管理課で配布または町ホームページからダウンロード

●問い合わせ
防災危機管理課 内線348



緊急地震速報の訓練放送

Jアラート(全国瞬時警報システム)を利用して、緊急地震速報の全国的な訓練放送を実施します。これにより、町内14か所に設置してある屋外拡声器のほか、お手持ちの同報無線戸別受信機や防災ラジオから、訓練放送が流れます。

●と き 6月15日(水) 午前10時頃～

●放送内容

「こちらは、こうほうひがしうらです。ただ今から訓練放送を行います」

「緊急地震速報チャイム音」

「緊急地震速報、大地震(おおじしん)です。大地震です。これは、訓練放送です」×3回

「こちらは、こうほうひがしうらです。これで訓練放送を終了します」

●シェイクアウト訓練

訓練放送を聞いた際には、シェイクアウト訓練(しせいをひくく、あたまをまもり、じっとしたまま1分間)を実施してみましょう！



●問い合わせ
防災危機管理課 内線348



耐震診断、耐震改修を行おう！

皆さんの生命や財産を守るため、木造住宅の無料耐震診断および木造住宅耐震改修費補助などを実施しています。無料耐震診断および各種補助は、予算の範囲内で実施しているため、必ず事前に問い合わせ先へ相談してください。

無料耐震診断とは？

町が派遣する診断員が現地調査を行い、後日、診断結果の説明と一般的な補強のアドバイスおよび概算工事費の提示を無料で行います。

●対象建築物

昭和56年5月31日以前に着工された町内の木造住宅（ツーバイフォー、プレハブ、鉄骨造などは対象外）

●対象者

対象建築物の所有者または居住者

※所有者の同意を得られること

●申込み

耐震診断申請書を都市計画課または各地区コミュニティセンターへ

※申請書は都市計画課および各地区コミュニティセンターで配布または町ホームページからダウンロード

木造住宅耐震改修費補助とは？

木造住宅の耐震改修工事に要する費用の一部を補助する制度です。

●補助金額

耐震改修に要する費用で上限100万円以内

●補助対象

・町の無料耐震診断を受け、診断の判定値が1.0未

満の住宅で、耐震改修工事後の判定値が1.0以上となる住宅（ただし、判定値に0.3を加算した数値以上のものに限る）

・工事が当該年度の2月末までに完了するもの

その他各種補助

各補助の詳細は問い合わせ先へ

●非木造住宅耐震診断費補助とは？

鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの非木造住宅（プレハブは対象外）の耐震診断費の一部を補助する制度です。

●木造住宅解体工事費補助とは？

耐震性がない建築物の解体を推進するため、旧基準木造住宅または倒壊危険建築物の解体工事に要する費用の一部を補助する制度です。

●木造住宅耐震シェルター整備費補助とは？

高齢者などが居住する耐震性がない木造住宅の耐震シェルター整備に要する費用の一部を補助する制度です。

訪問販売による「点検商法」に注意！

「無料耐震診断」「無料点検」を口実に家庭訪問し、高額な工事費や商品の契約を結ばせるトラブルが発生しています（耐震改修工事は契約後8日以内ならクーリング・オフ可）。

町が行う「無料耐震診断」は、申込み後、事前に診断員名などの通知をしています。

●問い合わせ 都市計画課 内線267



防災ラジオ販売中！

地震や風水害など災害に関する緊急時の放送や、防犯・火災情報などを、聞くことができます。

●防災ラジオはどんなことができるの？

- ①町防災情報などの放送の受信
- ②AM・FMラジオ放送の受信
- ③LEDライト装備
- ④電源はACアダプターと乾電池の2つに対応

●購入方法

・販売場所 防災危機管理課で随時販売

・価格 1,500円

●注意

・返金不可。購入前にサンプルで受信状況を確認のうえ、購入していただきます。

・原則、使用後の返品不可

●問い合わせ 防災危機管理課 内線348

